四季の体験フィールド

信州たてしな観光協会

自然の懐に抱かれた白樺湖と白樺リゾート池の平ホテル＆リゾーツ

長野県茅野市の白樺湖は、四季それぞれに豊かな自然を体感でき、一方で洗練されたリゾート感覚の諸施設は安全と快適を兼ね備え、教育旅行に最適な体験フィールドを提供している。各エリアへのアクセスも良好だ。

長野県は、スキー修学旅行の代表的な地域として知られている。また、茅野市の白樺湖一帯は、スキーだけでなく多彩なプログラムによって、年間を通した教育旅行先として注目されている。標高1500～1800㍍の大自然の懐に抱かれ、山や高原の木々が緑の萌えたつ夏期、一面が真っ白な雪に覆われる冬期…四季折々にさまざまな表情をみせ、多様な体験ができる。

高原のリゾート性発揮
多彩なプログラムでコース作り容易

一例をあげると、夏期には清涼で開放的な空間や環境を生かした自然観察や自然体験学習、登山、トレッキングスポットが広がる。日本百名山の蓼科山や車山高原、八島湿原といった若干ハードな登山から幅広いレベルで楽しむことができ、トレッキングルートなどさまざまなコースを堪能できる。北アルプスを見渡すことのできる各コースは教育旅行のみならず、家族や夫婦など一般の人々に大変人気なスポットでもある。

スキー修学旅行でにぎわうホワイト期のゲレンデ

冬期にはスキーやスノーボードが行える。スキー場は、池の平スノーパークをはじめ、しらかば2in1スキー場、白樺高原国際スキー場、車山高原スキー場、ブランシュたかやまスキーリゾートなどが点在し、初心者から上級者まで対応しているため、生徒たちの習熟度に合わせてコースが選べる。

白樺湖畔にある「世界の影絵・きり絵・ガラス・オルゴール美術館」は、藤城清治の影絵、辰巳雅章のきり絵、世界各地から収集した古典オルゴールを一堂に展示している。ここでは、影絵制作が楽しめる影絵体験教室も開かれている。隣には、蓼科テディベア美術館もある。

登山

星空鑑賞

体験プログラムは、万華鏡制作体験（影絵美術館）、デコスイーツ・ジェルキャンドル体験（同）、陶芸教室（池の平ホテル内）をはじめ、湖畔から車で5～35分圏内に手打ちそば道場、紙すき体験教室、黒耀石体験ミュージアム、乗馬体験、田植え体験、鷹山ファミリー牧場、長門牧場、女神湖スポーツ広場、体育館などさまざまな施設がそろう。

日本でも有数の星スポットのある長野県。そんな数あるスポットがある中でより空に近い標高1500～1800㍍で満天の星空体験をできて、都会では出会うことのない夜空いっぱいに輝く細かな星たちを観賞できる。池の平白樺高原ホテルには星空を案内する星空ガイドが常駐しており、無数に輝く星々をレーザーポインターなどで星座のつなぎ方を教えてくれて、神話の話で楽しませてくれる。今一番魅力的な体験の一つでもある。

問い合わせは、信州たてしな観光協会☎0266（68）3003。

御泉水自然園　長野県が明治100年記念事業第1号として開設した。蓼科牧場からゴンドラリフトで約5分。蓼科山の中腹、標高1830㍍、総面積169㌶の自然園は、約300種類の高山植物と、50種類の野鳥たちの宝庫だ

白樺湖　昭和22年、かんがい用温水のため池として、湿原地帯であったこの地を造成してつくられた湖。当時、白樺の枯木が湖上に林立していたことから白樺湖と名付けられ、現在に至る。標高1416㍍、周囲約4㌔㍍の白樺湖は、標高1925㍍の車山、2530㍍の蓼科山をひかえた広大な自然公園であり、高山特有の動植物を数多く見ることができる。

錯覚を体験、学び発想力を養う

トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。東京・お台場と栃木・那須高原にあるトリックアートの常設館は、これらの作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、錯覚を体験したりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

那須とりっくあーとぴあ　ARR作品の数々展示

「那須とりっくあーとぴあ」は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。

「トリックアートの館」「トリックアート迷宮?館」「ミケランジェロ館」の三つの施設で構成。6月には「ミケランジェロ館」がリニューアルオープンし、従来のトリックアートの楽しみ方とはまた違った楽しみ方を提案している。

この夏の暑さで溶けたポスト？！

ミケランジェロ館1階展示室「名画トリックの間」では、西洋絵画の名作をトリックアートの世界観で表現。名画とユーモアが織り成す不思議な空間に、新たな作品が仲間入りした。有名な「ナポレオンの戴冠式」をモチーフにした作品は、戴冠式に参列した観客の中に世界5カ国の首脳が隠れているなど、名画に遊びながら親しめる仕掛けでいっぱいだ。自然と絵画に興味を持てる仕組みで、生徒たちの美術へのきっかけとして期待できる。

また館内のあちこちに、AR（拡張現実）を体験できる作品の数々を展示。専用アプリをスマホにダウンロードして作品にかざすことで作品が動きだし、それを写真のみならず動画として撮影することもできる。絵画が動きだす驚きと感動はぜひ体験してもらいたい。

「お台場の想い出」を写真に残そう

さらに、建物を飛び出し屋外に作品を展開する試みも。SNSなどで話題を呼んでいる。夏の暑さで溶けたような「自動販売機とけちゃった」のオブジェに続き、ぐにゃりと曲がってしまった「郵便ポスト」、絶妙なねじれ具合を見せる「カーブした電話ボックス」等、現実世界ではありえない現象が形となった、意外性あふれる作品群も新たな魅力となっており、屋外での格好のフォトスポットにもなっている。

また敷地内の公開アトリエではスタッフが作品を制作している風景の見学も可能で、トリックアートがどのように描かれているのかを目の前で見ることができる。

この秋は、ぜひ楽しみながら学び、想像力をかき立てるトリックアート作品と出会ってほしい。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後5時まで営業。入場料3館共通大人2800円、中学生以下1900円。

ＡＲで犬たちが動きだす動画も楽しめる

東京トリックアート迷宮館　お台場の人気スポット

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポットお台場にあり、一般客や修学旅行客で年中にぎわっている。

館内に入り、まず目にするのは、色彩豊かで親しみやすいモチーフの和風の作品の数々。

例えば「跳び出す鳥獣戯画」は、国宝・鳥獣人物画に描かれたカエルやウサギが立体的に跳び出す様子を表現。鑑賞者は驚いて捕まえようとしたり、一緒に走りだしたりするなど、現実と絵が一体になったユニークな写真が撮れる。

「愉快な忍者とお化けエリア」では、忍者やお化けのトリックアートが来場者を出迎える。忍者やお化けを探しながら先に進もう。

趣が変わる「トリックアート名作ギャラリー」。過去の名作から最新作まで、バラエティ豊かな作品を展示している名画やトリックいっぱいの作品を体験しよう。

お台場は高校生の自由行動で人気の場所に選ばれており、その中でも芸術性と、楽しさを感じられる施設として、トリックアート美術館は修学旅行の良き思い出の1ページとなるだろう。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人千円、中学生以下700円。